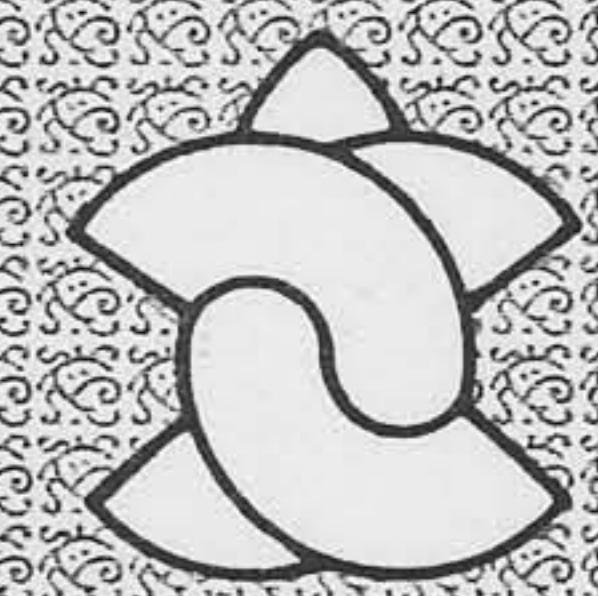


立命館大学



# 化学生物同志会ニュース

—第2号—

編集: 立命館大学化学生物同志会事務局  
編集責任者: 岩橋清  
〒603 京都市北区等持院北町56-1  
立命館大学化学生物内  
TEL 075-463-1131  
(内3635)

## スタンフォード留学記

林 隆俊

(立命館大学教授)



スタンフォード大学のシンボルになっている「フーバータワー」

一九八三年四月より一年間、本学の資金によりカリフォルニアのスタンフォード大学へ国外留学させていただきました。

アメリカはとほうもなく大きき国ですから一年間で私の見聞し得たものは、おそらくアメリカの一点に過ぎないと

思います。従つて、私がここで述べたことは、私の見たアメリカであり、独断と偏見に満ちていることをお許し願い

ます。斯坦フォード大学はサンフランシスコの東南約四五キロに位置しており、カリフオルニア大学のバークレー校にも近い位置にあります。

北緯で云えば三十七度付近です。日本の福島県地方に相当するところですが、気候

は非常に温暖で、日本の関西地方と比較すれば、一年中が初夏と早春だけといった感じです。天気の方も大陸的と云うが、非常に安定していて、冬が雨期で夏が乾期になります。乾期と云えば全く雨が降

ります。これでも広さの実感がわかりにくいので四角の大

らす、私の滞在中五月から十月まで、一度も雨が降りませんでした。毎日晴天ですから水さえ有れば、果実が良く実り、野菜・果物の美味しいことこのうえ無しでした。

アメリカの一般の会社は週休二日制を取っていますが、日常生活関連の店は日曜日も休まない所が多く、夜の十時、十一時まで開いている所もたくさんあります。銀行のオフィスは週休二日制ですが、個人カードを利用すれば一日二十四時間、いつでも現金の出し入れができる自動窓口が完備しております。この点では日本より非常に便利です。

さて、スタンフォード大学は、立命館と同様の私立の大学で、アメリカでの名門校の一つです。創設は一八九一年ですから立命館とほぼ同じ程度の歴史をもっています。大学キャンパスの広さは八千エーカーと云われていますので、約三十二平方キロの広さになります。これでも広さの実感がわかりにくいので四角の大

きさに代えると一辺が約五・七キロの正方形の広さになります。従つて大学内での移動にはサイクリング車か又は自動車がなければ身動きがとれないといつた、とほうもない広さです。

私はサイクリングで、化学賞にかがやきました。おしゃンパンの音高らかなお祝パーティーに参加できるラッキーに浴しました。化学科だけでも今までにボーリングやフローリーなどのノーベル賞

学者を輩出しており、三人の



化学生物の中心的建物

学部生は日本の大学のような卒業研究を行ないませんが、博士コースの大学院生は、一般社会が週休二日制にもかかわらず、ほとんど日曜日も大学へ出て研究に励んでいます。

私は、立命館大学の長年の懸案であつた衣笠学舎への統合も一九八一年に法学部の移転を以て完了しました。化学生物系を主とする現在二十名(教授八名、助教授四名および助教八名)のスタッフによる十

## 化学生物紹介

化学生物主任 林 隆俊

立命館大学の長年の懸案であつた衣笠学舎への統合も一九八一年に法学部の移転を以て完了しました。化学生物系を主とする現在二十名(教授八名、助教授四名および助教八名)のスタッフによる十

（分析化学系）  
永井研究室 永井外代士教授  
松田十四夫助手  
澤村精治 助手

鈴木 啓三 教授  
谷口 吉弘助教授  
小島一男 助手

山本 善史助教授  
松田二郎 教授  
谷口 哲也 助手

高橋 瑞爾 教授  
白石晴樹 助手

杉田研究室 杉田嘉一郎教授  
中村尚武 助手

林(隆) リ 岡本 尚武 教授  
林 隆俊 教授  
岡田 豊 助手

立花 精 教授  
塩出十一 助手

木下恭介 助手

林(暁) リ 林 晦 教授  
村季照氏、竹内良夫氏や東正弘氏などの方々に大変お世話をになりましたことを付記させ

たまま、私の滞在中に、たまたま、私の滞在中に、理工学部としましても、一九八六年度開設を目指して、現在の社会的ニーズに応え得るような新学科の創設に取り組んでいます。現在の所では、募集定員百名程度の「情報工学科」(仮称)と云うことでの準備に、全理工学部スタッフが一丸となって内容の検討を行なっています。

次に、現在の化学生物における教育と研究スタッフについて簡単に紹介させていただきます。化学生物では、工場技術者、セールス技術者、企業および研究所研究員、教員として化学の基礎を身につけた上、ある程度の応用・創造力をもち、あらゆる点で有能な、指導的立場に立ちうる学識経験を有するものの育成を目指しています。

カリキュラム編成には、基礎科目を重視し、そのうえに立つて展開・応用の科目を配列しています。すなわち、一二回生から教養科目と並んで専門の基礎となる学科科目・実験を十分に修得させることに努めており、四回生時における卒業研究は、グループ別の指導体制をとつて、創造的研究への糸口がつかめるよう配慮されています。

化学生物には、現在、純正化学生物課程と工業化学生物課程の二課程がおかれています。しかし、卒業の課程を履修した者に対して、理学士または工学士の称号が与えられます。しかし、卒業に必要な専門科目単位数の約

たまたま、私の滞在中に、たまたま、私の滞在中に、

理工学部としましても、一九八六年度開設を目指して、現在の社会的ニーズに応え得るような新学科の創設に取り組んでいます。現在の所では、募集定員百名程度の「情報工

きに代えると一辺が約五・七キロの正方形の広さになります。従つて大学内での移動にはサイクリング車か又は自動車がなければ身動きがとれないといつた、とほうもない広さです。

私はサイクリングで、化学賞にかがやきました。おしゃンパンの音高らかなお祝パーティーに参加できるラッキーに浴しました。化学科だけでも今までにボーリングやフローリーなどのノーベル賞

教授 HANK・TAUBE 氏が一九八三年度のノーベル化学賞にかがやきました。おかげで、化学生物の前庭での、シヤンパンの音高らかなお祝パーティーに参加できるラッキーに浴しました。化学科だけでも今までにボーリングやフローリーなどのノーベル賞

教授 HANK・TAUBE 氏が一九八三年度のノーベル化学賞にかがやきました。おかげで、化学生

# 幹事会 同窓会通信

役員名簿	
顧問	本島 健次(旧教員) 杉田嘉一郎(現教員) 長谷川忠男(専門1部22年卒) 尾池 耕三(専門1部23年卒)
会長 副会長	吉田 巍(専門1部25年、大学1部27年卒) 津田 和夫(大学1部28年卒)
庶務幹事	岡本 勇三(専門1部25年、大学2部27年卒) 岩橋 清(専門1部23年、大学1部27年卒)
会計幹事	今達 権治(専門1部24年卒) 東 龍夫(大学2部29年卒) 小林 亀造(大学1部33年卒) 松田十四夫(大学1部38年卒) 谷口 吉弘(大学1部40年卒)
会計監査	服部 定治(専門1部19年、大学2部34年卒) 野村祐三郎(専門1部20年卒) 佐々木右八(大学1部32年卒) 山本 善史(大学1部35年卒) 中村 尚武(大学1部41年卒) 福井 明(専門1部20年卒) 市川 延繁(大学2部28年卒)

(敬称略)

去る六月十日(日)午後三時より、末川記念会館会館ホールで本年度第一回の幹事会が行われた。出席者は三十五名で委任状を含め幹事会成立を確認の後、岡本副会長の提案により、吉田会長を議長に選出し議事が進められた。

前会幹事会(昭和五十八年十月二十三日)議事録の説明後、名簿売上げ、会費納入、寄附金の応募状況、および事務局会に関する経過報告が行われた。

次に、岡本副会長より、昭和五十八年度事業報告(同窓会名簿発行、同窓会発会式、第一回事務局会、第二回事務局会、幹事会、同窓会ニュース発行など)、中村委会計幹事より昭和五十八年度決算報告

(同窓会会計、同窓会会員名簿出版事業会計)が、市川会計監査より会計監査の報告があわせ行われた。

引き続き岡本副会長より、昭和五十九年度事業計画および昭和五十九年度予算方針について説明があり、中村委会計幹事より予算案の提案が行われ、種々討論の結果、昨年度の諸事業(会員名簿の作成、同窓会ニュースの発行・会員への通信)に加え、本年度よりあらたに在学生(三・四回生)を対象に就職に関する講演会および会員対象の科学技術セミナーを開催することになり、その運営委員長に竹内良夫氏(一部理科二十五年卒・元教員)が選出された。五十九年度会計と特別事業会計の二本立て

次に、岡本副会長より、昭和五十八年度事業報告(同窓会名簿発行、同窓会発会式、第一回事務局会、第二回事務局会、幹事会、同窓会ニュース発行など)、中村委会計幹事より昭和五十八年度決算報告

次に、岡本副会長より、昭和五十九年度事業計画について、種々討論の結果、昨年度の諸事業(会員名簿の作成、同窓会ニュースの発行・会員への通信)に加え、本年度よりあらたに在学生(三・四回生)を対象に就職に関する講演会および会員対象の科学技術セミナーを開催することになり、その運営委員長に竹内良夫氏(一部理科二十五年卒・元教員)が選出された。五十九年度会計と特別事業会計の二本立て

昭和59年度事業計画

I 諸事業	予定年月
1) 昭和59年3月卒業生名簿の作成	59. 6
2) 同窓会ニュース(No.2)の発行	59. 7
3) 全会員への通信(同窓会ニュース、新卒者名簿、昭和59年度会費の請求などの送付)	59. 7
4) 講演会及びセミナー等の開催	59. 6
a) 在校生を対象とする就職関係の講演会	59. 11
b) 会員を対象とする科学技術セミナー	

II 諸会議	予定年月
1) 幹事会	59. 6
a) 第1回幹事会(於:立命館大学、末川記念会館)	59. 6
b) 第2回幹事会(臨時)	
2) 事務局会	59. 4
a) 第1回事務局会(於:立命館大学、末川記念会館)	59. 6
b) 第2回事務局会(於:立命館大学、末川記念会館)	59. 7
c) 第3~5回事務局会	59. 11, 60. 2以上

## 昭和58年度事業報告

年・月・日	場所	事業
58. 5		立命館大学化学科同窓会員名簿発行。
58. 6. 12	立命館大学清心館、存心館	立命館大学化学科同窓会発会式(含記念講演会・懇親会)。
58. 7. 24	京都私学会館	第一回事務局会。
58. 9. 3	京都府立勤労会館	第二回事務局会。
58. 10. 23	京都教育文化センター	幹事会。
58. 11. 24		同窓会ニュース(創刊号)の発行。
58. 11. 30		在校生(卒研生)への会則および名簿販売の案内配布。
58. 12		同窓会ニュース(創刊号)、昭和58年度会費の請求、および名簿販売などの案内を全会員に送付。
59. 3. 20		昭和59年3月卒業生を対象に年会費の請求、および名簿の販売。
		以上

## 昭和59年度予算

1. 化学科同窓会一般事業会計	
(収入)	(支出)
繰越金 1,414,877	人件費 200,000
会費 1,300,000	印刷費 300,000
雑収入 350,000注1	郵送費 400,000
計 3,064,877	会議費 100,000
	事務局費 60,000
	雑費 60,000注2
	特別事業会計拠出金 1,400,000注3
	予備費 544,877
	計 3,064,877

2. 化学科同窓会特別事業会計	
(収入)	(支出)
一般会計繰入金 1,400,000	予備費 2,000,000
寄付金 600,000	計 2,000,000
計 2,000,000	

注1. 予算編成基本方針に従い、「名簿出版事業会計」、「化学科準備会計」および「懇親会会計」の残高を含む。  
注2. 慶弔費を含む。  
注3. 特別事業会計は次回名簿出版を主目的とする。

## 昭和58年度決算報告

(なお、支出項目名を中間報告時と一部変更しております)	
1. 化学科同窓会会計	(支出)
(収入)	人件費 272,400
会費 1,870,210	印刷費(同窓会ニュース他) 225,000
寄付金 634,500	郵送費( " " ) 366,390
雑収入 46,100	会議費(幹事会、事務局会) 164,430
計 2,550,810	事務局費 53,123
	雑費(慶弔費) 54,590
	計 1,135,933
	差引残高 1,414,877

2. 化学科同窓会会員名簿出版事業会計	
(収入)	(支出)
売上金(含送料) 3,333,000	名簿作成費 3,015,000
広告代 610,000	" " 事務費 510,400
計 3,943,000	" 送料 270,930
	計 3,796,330
	差引残高 146,670

3. 化学科同窓会準備会会計(同窓会ニュース創刊号参照)	
残高 167,059	

4. 化学科同窓会懇親会(1983.6.12)会計(同窓会ニュース創刊号参照)	
残高 20,815	

員、元、日立マクセル㈱・研  
れ、本事業の運営委員長の竹  
内良夫氏(28年卒、本学元教  
員副会長の司会で開会され  
ました。当日の出席者は約  
七十五名でした。

役) 都第一科学・専務取締  
本の特質』(30年阪大卒、株  
西本正樹)の見えた日

第一回講演会開催される!  
今年度事業の第一弾として、  
在校生の就職活動時期に合わ  
せた講演会が六月二十七日(水)  
午後一時から、衣笠学舎二号  
館の理工学部会議室で開催さ  
れました。

二、「製薬工業界の現状と  
究課長)のあいさつがあり、  
続いて次の二つの講演が行わ  
れました。

一、「製薬工業界の現状と  
究課長)のあいさつがあり、  
続いて次の二つの講演が行わ  
れました。

更に、松田・谷口両幹事よ  
り、同窓会運営に関する種々  
の提案がなされ討議が行わ  
れた。その結果、まず、同窓会  
ニユース編集・発行について  
は、庶務幹事がその任に当り、  
編集委員長に岩橋清氏(一部  
工科二十三年卒)を選出した。  
名簿作成に関しては、十数名  
の年度幹事(部別)を構成員  
とする名簿作成委員会がその  
任に当たり、名簿作成委員会の  
委員長に岡本副会長を選出し  
た。未納入の年度会費の徴収  
については、種々議論の末、  
暫定的に未納入分を含めない  
單年度請求とすることが承認  
された。その他、教員退職者  
への記念品の贈呈、会員の慶  
弔に関して会員死亡の場合に  
限り弔電を打つことが承認さ  
れた。最後に、吉田会長の閉  
会の挨拶があり、午後五時終  
了した。

同窓会ニュース(創刊号)の発行。  
在校生(卒研生)への会則および名簿販売の案内配布。

同窓会ニュース(創刊号)、昭和58年度会費の請求、および名簿販売などの案内を全会員に送付。

昭和59年3月卒業生を対象に年会費の請求、および名簿の販売。

以上